

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第14号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



開設記念式典（3ページ）



地域のみなさんもいっしょに



息をあわせて……長縄とび



第2回運動会開催（記事4ページ）

= 目 次 =		ページ			
出来事	2	報告	3	語学教育センター	5
学長の日程から	2	第2回奨学生決定	3	情報教育センター	5
大学来訪者	2	新学部・センター開設記念式典	3	臨床医学センター	5
お知らせ	2	運動会	4	言語聴覚センター	5
教務課	2	第2回ナイチングール	4	教員紹介	5
入試事務室	2	特別講演会開催	4	サークル紹介	7
教務委員会	2	学科・センターだより	4	13号のクイズの正解	7
国際交流委員会	2	看護学科	4	当選者発表	7
紀要委員会	2	理学療法学科	4	編集後記	8
ボランティア委員会	2	作業療法学科	4	リレーエッセイ	8
広報委員会	3	言語聴覚障害学科	4	IUHWクイズ	8
図書館利用について	3	放射線・情報科学科	4		
福祉大学クリニック開院	3	医療経営管理学科	5		
校歌募集	3	医療福祉学科	5		

出来事

◇学長の日程から

- *平成9年4月3日(木)
筑川医学奨学生歓迎式典
- *平成9年4月12日(土)
日本皮膚科学会総会・学術大会
(岡山シンフォニーホール)
- *平成9年4月21日(月)
栃木県保健衛生事業団移転披露式典並びに創立20周年記念式典(とちぎ健康の森)
公衆衛生院講義

◇大学来訪者

- *平成9年3月27日(木)
国際協力事業団主催研修員
ベトナム・チヨーライ病院 副院長
Dr. Nguyen The Hiep
- *平成9年4月14日(月)
国際協力事業団主催研修員
ボリビア・サンタクルス総合病院 研修部長
Dr. Victor Hugo Zambrana Barron
- *平成9年4月26日(土)
医療環境研究会 13名

お知らせ

◇教務課

「手引き」や掲示板を大切に!!

この原稿が皆さんの目に触れる頃には少々時期遅れではありますが、春先に毎年感じる苦言を一つ。大学は社会に出る前の総仕上げをするべき場所で、社会の中にある様々なルールに対応できるよう訓練する場所です。そのルールを皆さんに伝えるのが「手引き」や掲示板ですが、これらを読まずに窓口へ相談に来る学生が学年に関係なく余りにも多すぎます。皆さんは半社会人なのですから手引きや掲示をよく読むと共に、提出物の期限も厳守するよう努力して下さい。皆さんの成長を楽しみにしています。

◇入試事務室

97年度学科別男女別志願者・入学者集計表

学科名	志願者数			入学者数		
	男子	女子	計	男子	女子	計
看護学科	89	886	975	11	115	126
理学療法学科	968	803	1,771	56	47	103
作業療法学科	240	499	739	32	71	103
言語聴覚障害学科	77	390	467	15	88	103
放射線・情報科学科	561	222	783	87	41	128
医療経営管理学科	117	71	188	73	56	129
医療福祉学科	93	154	247	44	85	129
合計	2,145	3,025	5,170	318	503	821

◇教務委員会

履習登録に「履習登録確認期間」と 「履習登録変更期間」を導入

新学期を迎える学生諸君には明るい笑顔がみなぎっているように見受けられます。勉強をスタートするにあたっての履習登録が無事終了し、授業も順調に進んでいることと思います。本学は開設して未だ間もないことから、学生諸君の履習登録にはできるだけ間違いのないようにしていく手立てが必要です。今年度は「履習ガイド」が作成され、登録内容の確認期間と変更期間を設けました。学生諸君!しっかりと自分で確認し終えて、授業に臨んでいますか。

◇国際交流委員会

新年度の委員は次の方々です。看護・池松裕子*、理学・藤沢しげ子、作業・福田恵美子*、言語・城間将江、放・情・牧野元治*、医療経営・高橋淑郎*、医療福祉・長谷川豊*、医学教育・都築正和、語学教育・田中美子・南井紀子*、情報・細井良三*。（*印は新委員）4月22日に第1回委員会を開催しました。大学の方針を待つて、新たな組織、方針で幅広く活動する予定です。留学生として、理学に韓憲受（韓国）と霍明（中国）、放・情に陳光宏（台湾）の3君を迎えた。今夏には国際ボランティア派遣計画を検討中です。

5月21日レストラン2階で、学長・当委員会主催の「留学生・帰国子女・海外生活者の集い」が盛大に開催されました。1~3年生の留学生等20名と、理事長、教職員25名が、ハンドベル部9名の素晴らしい演奏をバックに和やかな歓談の時を過ごしました。

◇紀要委員会

3月25日(火)に平成8年度最後の第12回紀要委員会を、そして4月22日(火)には平成9年度第1回の紀要委員会を開催いたしました。紀要第1巻に関しては送付先をデータベース化するため、各学科および各センターから提出していただいたリストを事務局においてコンピュータに入力してもらっております。紀要第2巻については本格的な編集作業に入りました。論文審査の作業がありますので、先生方には是非とも厳正な審査のご協力ををお願いいたします。新年度の委員構成は暫定的に前年度と同一メンバーで始めましたが、新学部の先生方のご参加もお願いいたします。

◇ボランティア委員会の準備すすめる

国際医療福祉大学には、完成時には3,000名を越える保健・医療・福祉の専門家の卵が学ぶことになり、またその専門の教員集団が存在することになります。この集団の中からたとえ数%でも地域の在宅の障害者や高齢者、施設や病院へのボランティア活動への参加

者が生まれれば大きな地域福祉の原動力になります。

そこで、学校の中に「ボランティア委員会」を設置しボランティア活動に取り組む学生と教員が共同してその活動を推進して行こうということで、医療福祉学科が中心となり、大田原市社会福祉協議会のボランティアセンターや栃木県社会福祉協議会と連携をとりながら準備の話し合いをすすめることになりました。

◇広報委員会

平成9年度委員会構成：寺沼幸子・須佐公子（看護）、齊藤昭彦・窪川徹（理学）、菅原洋子・濱口豊太（作業）、○伊藤元信・飯塚直美（言語）、清水慶昭・石井伸英（放・情）、橋本正弘（経営）、田澤 薫（福祉）、○宮尾洋子・宮崎（横関）路子（語学）。

○委員長、○副委員長。

「I U H W」の発行予定と担当者：14号（6月10日、宮尾・須佐・橋本）、15号（7月16日、宮崎・濱口）、16号（10月20日、寺沼・菅原・田澤）、17号（12月1日、清水・齊藤）、18号（1月20日、窪川・飯塚・石井）。

◇図書館利用について

今年度から新学部の増設にともない、学生数が大幅に増えました。当館は地域の方々にも開放していますので、年々利用者数は増加していきます。私たち図書館員は、ひとりひとりが気持ちよく図書館を利用できるよう、日々努力していきたいと考えていますが、利用の方々も次の点に注意して、よりよい図書館づくりにどうぞご協力下さい。

1. 図書館内での私語は謹んで下さい。場合によつては退室していただきます。
2. グループ学習、サークルの打ち合わせ等での利用も禁止します。
3. 図書館内での飲食は禁止となります。飲食物の持ち込みもご遠慮下さい。
4. 貸出について、貸出期限を過ぎても返却されない場合は遅滞料を徴収します。また、貸出禁止とさせていただくこともあります。

図書館の利用については、図書館案内をご覧下さい。
(図書館長)

◇国際医療福祉大学クリニック開院

今年3月、2階の言語聴覚センターが診療開始し、5月からは1階の健康管理センターも診療を開始いたしました。

この健康管理センターでは、学生及び教職員の日常の健康管理と健康診断を行います。具合が悪いと感じた際には大学キャンパス内の当クリニックにご相談下さい。職員一同、誠意をもって診療にあたります。

◇募集／国際医療福祉大学校歌

大学では下記の要領で校歌を募集します。校歌は大学と共に生き続け、作者の名は歴史に残ります。奮って応募してください。

- ・校歌（式典などで歌えるもの）及び準校歌（応援歌、体育祭などで使用）の作詞、作曲。
- ・応募資格：本学学生、教職員、役員、その家族など、この大学に関係がある者。
- ・賞金：校歌、準校歌として採用された各作品に十円。
- ・期限：1997年10月9日
- ・詳細は事務局総務課まで。

報 告

◇おめでとう／国際医療福祉大学第2回奨学生決定

2年生（559名）、3年生（549名）から以下の10名が今年度の奨学生として選ばれ、5月8日に授与式がありました。学則第59条一品行方正で学業優秀な学生に奨学金を支給する一にもとづくものです。

3年生、島明子（看護）、氏家芳彦（理学）、杉山奈津美（作業）、西澤絵子（言語）、星野正光（放・情）。

2年生、大野晃子（看護）、神谷晃央（理学）、竹井一博（作業）、榎本千江子（言語）、提箸美夏（放・情）。



◇新学部・センター開設記念式典

今春開設した医療福祉学部及び言語聴覚センターの開設記念式典が5月17日に行われ、ご来賓、教職員、学生の態勢約500人が出席して開設を祝いました。

日本医師会会長の坪井栄孝氏による記念講演「医療政策立案過程の改革」に続いて、記念式典では高木理事長、大谷学長が開設の挨拶を行いました。ついで小菅充栃木県副知事をはじめとするご来賓の祝辞をいただきました。

式典終了後には学内を開放し、見学者からは今後の高齢者社会を担う人材の養成に対して、本学への強い期待の声が上がりました。

◇運動会

雨中の熱闘!! 第2回運動会はP.TがV2

医療福祉学部、大学クリニックの開設を記念した、第2回「国際医療福祉大学運動会」が24日開かれました。途中で雨が強まり、競技の半分は中止となりましたが、総合得点では理学療法学科が2年連続2度目の優勝を飾りました。

曇天で時折小雨交じりという悪条件の中、椅子に座つてパンと牛乳を平らげる「登校5分前」から競技がスタート、雨で中止となるまでに4種目が繰り広げられました。理学療法学科による本格的な応援合戦や体育馆で披露された言語聴覚障害学科の凝った仮装は秀逸。豪華景品の当たる抽選会が行われたり、地域のお年寄りや子供たち、障害者の皆さんも訪れるなど、楽しい時間を過ごしました。

◇看護学科、第2回ナイチンゲール特別講演会開催!!
一偉大なる先達から学ぶ看護の実践をめざしてー



4月26日13時30分からE棟101教室で開催。参加者160余名（内、100名は地域の病院等に就業する看護職員）。大谷学長・荒井学科長の挨拶で始まり、次に「実践に生かせるナイチンゲール理論」のテーマでの講演。さらに、シンポジウム「今、ナイチンゲールから学ぶもの」では、臨床看護婦・教員・学生の立場からの発表が、最後に3月に実施したナイチンゲールゆかりの地を訪ねた旅の報告で締め括りました。会場では熱心な討論があり、看護週間を目前に偉大な先達から学ぶ有意義な学習の場となりました。

（城ヶ端初子）

学科・センターだより

◇看護学科

新一年生の4月

一年生が新しい環境に適応できるようにと2・3年生主導の歓迎会が4月17日カフェテリアで開催されました。参加者は教職員を含めて200余名。ゲームや音楽で盛りあがり、良い交流の場になりました。また、初めての「基礎看護技術論」の授業では、健康的な生活を送るための方策をグループ討論し発表しました。他者の生活を整える専門家になろうとする者の初めての学習は、生き生きと感動的でした。こうして、少しずつではありますが、看護者になる意識が積み重ねら

れています。彼らの今後に期待!! （城ヶ端初子）

◇理学療法学科

優勝トロフィー死守／丸山学科長舞う

5月24日（土）の運動会は理学が優勝して、V2達成となりました。が、午後に行われた抽選会では、当たりの数こそ理学が出ていたものの、1、2、3等（割といいもの）は他学科に持っていくかてしましました。1年緑、2年黄、3年青のTシャツも作り、豚汁も作り、焼き肉も作り、カッパラーメンも作り、人文字も作り、応援団も作ったのに、あーあ、あの応援団の雨乞い太鼓が、今日もグランドに響く・・・

（窪川 徹）

◇作業療法学科

4月14日（月）午後6時より、新2年生主催による「新入生歓迎会」が学内カフェテリアにて行われました。“昨年自分たちが行ってもらったのだから、今年は新入生を歓迎してあげよう”との思いの元、数人の発起人ががんばって、実現した歓迎会です。当日は、新入生・新2年生ともかなりの人数が出席し、和やかな雰囲気で時間を過ごすことが出来ました。新入生の中には「こんな素晴らしい先輩方がいる学校に入学できて本当に良かった」と感じた人も、数人位はいたことでしょう。それはさておき、新入生の皆さん、多くの事を学びながら、充実した学生生活を送って下さい。教員一同、大いに期待しています。（下田信明）

◇言語聴覚障害学科

言語聴覚障害学科では、4月23日新入生歓迎会が開催されました。メインイベントは恒例の（？）名前BINGOゲーム。25名分のサインをもらって、準備万端。アキレス腱も伸ばして待っているものの、なかなか出でこない「bingo！」の瞬間にしげれをきらす者も多数。300余名の名前を読み上げる方も大変です。それでも最後には、ティッシュペーパーやスポンジ等の一人暮らし応援グッズの商品にあちこちで歓声が上がりいました。さて、何人の名前が覚えられたでしょうか…。今年も元気にがんばりましょう。

（田中佳代、植田 恵）

◇放射線・情報科学科

2年生主導で、新入生歓迎のウエルカムパーティがオリエンテーション直後の4月10日（木）午後6時からカフェテリアで開かれました。放射線・情報科学科の新入生は128名ですが、これに2年生、3年生が加わってそれはそれは大変なことになるかなと思っておりましたところ、昨年の歓迎会などの経験が活かされて見事な運営でした。いろいろ工夫されたゲームが

用意され、楽しいひとときとなりました。もちろん教員も参加し、楽しみました。緊張気味の1年生も瞬く間に賑やかな笑いの中に誘い込まれました。実行委員の皆さん企画力、実行力に敬意を表します。

(野原功全)

◇医療経営管理学科

4月7日、129名の第一期生を迎え、新しい歴史を創造していくと全員が感激を新たにしています。

まず、学生を3グループに分け、高橋淑郎、橋本迪生、矢野聰の3教授が各グループに対応して学業面のほか、生活面の相談にも応じる態勢を整えました。

5月13日には、カフェテリア棟に全員が集まって、「ワイン&未成年者用ソフトドリンク&チーズパーティ」を開きました。ワインに造詣の深い紀伊国誠三学科長の発案です。秋に予定されている病院実習（今年は見学）も実習指導担当の橋本正弘教授と井出助手が準備を始めました。ご支援を。 (橋本正弘)

◇医療福祉学科

基礎ゼミからスタート

いよいよ新学期のスタート。一年生は、履修届がよくわからなくてとまどいながらも、どうやら一学期がはじまりました。4/23からは教員全員でクラスを分担、少人数の基礎ゼミをはじめます。大学生活のいろいろをなんでも語りあい、施設見学をしたりという自由な時間です。教員は、当面の学科運営のため毎週一回の学科会議（水曜日、2時限）を開催しています。

また、実習計画を具体化するための基礎作業として、数名の教員で「マロニエ苑」と「橋の実花」の見学、打ち合わせ、栃木県保健福祉部や社会福祉事業団、県社会福祉協議会や福祉人材センターへの挨拶回りや情報収集を開始しました。 (鈴木五郎)

◇語学教育センター

"English in Action" 一自家製自習用教科書

「大きく息を吸って、そのまま止めて！」を英語でどう言うのでしょうか。「仰向けてになって」は？薬疹とか国民健康保険は？このような表現や、医療の現場でよく使われる単語がいろいろ入っている会話練習の自習用教科書ができました。溝口昭子、宮崎路子先生の力作で今年の1年生がLLで使用します。病院の受付、リハビリ、エイズ検査まで、楽しく役に立ちそうな会話が6つ入っています。残部が少々ありますので、ご希望の方にお預けします。テープが1本ついで1,000円です。 (宮尾洋子)

◇情報教育センター

今年度も新入生が入学し何かとキャンパスも明るく、

華やいでみえます。情報教育センターにも新任の先生（平林誠教授）が赴任され今後は4人体制で学生の教育や情報科学の研究に臨みます。毎年、新入生に対して情報科学演習で、一太郎とLOTUSの操作教育を実施していますが、最初の授業でコンピュータの経験の有無を質問しますと、ほとんどの学生が使用経験がないとか学校で少し習ったが忘れているという答えが返ってまいります。情報化時代の昨今、小・中・高校ではパソコン教育が行われていてとよく耳にしますが、少しギャップがあるような気がします。 (樺澤一之)

◇臨床医学センター

臨床医学センターはマロニエ苑、山王病院他大学関連医療施設で臨床を行う医師を中心に構成されています。3月3日からは本学キャンパス内にも、国際医療福祉大学クリニックがスタートし言語聴覚センターが患者の受入を開始しました。5月からは内科、消化器科、小児科、アレルギー科、整形外科、耳鼻咽喉科、歯科、入院病棟等からなる健康管理センターも本格的に動き始めました。当クリニックは高度医療機器も充実しており、みなさんが安心して健康な毎日を送れますよう職員一同努力して参ります。 (齋藤和雄)

◇言語聴覚センター

5月17日（土）、医療福祉学部・言語聴覚センターの開設式典後のオープンハウスには、医療、保健、福祉、教育など多方面の方々がセンターを訪れ、学生実習用のビデオシステムや乳幼児の聴力検査装置など、普段なかなか見ることのできない機器のデモンストレーションを熱心に見学されました。ことばや聽こえについて、乳幼児から高齢者までのあらゆる相談に対応できる当センターの機能の幅広さを知り、多くの方々から期待の声が寄せられました。 (飯塚直美)

教員紹介

（毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。）

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味。

刈生田春美（かりうだ はるみ）

①看護学科・技術助手、②昭和42年5月、③前橋赤十字看護専門学校、④大田原赤十字病院、⑦演習・実習等の技術指導、⑧スポーツ



筒井澄栄 (つつい すみえい)



①理学療法学科・助手、②1964年11月5日、③日本社会事業大学大学院、高知医療学院、④高齢者福祉、障害者福祉、⑤柳川リハビリテーション学院、⑥「施設利用高齢者の日常生活を改善する要因に関する研究」、⑦ハンガライダー(XC)、パラグライダー(XC)、ジェットスキー

濱口豊太 (はまぐち とよひろ)



①作業療法学科・助手、②1971年5月5日、③長崎大学医療技術短期大学部、④作業療法、⑤帝京大学医学部附属市原病院、⑥実習等、⑦バスケットボール(部活・サークルの方、御一報下さい。)ワイン(飲みぐせと経済的問題で収集は今後の課題。)魚釣り(川釣りは教えて下さい。)

中村淳子 (なかむら じゅんこ)



①言語聴覚障害学科・助手、②1967年4月7日、③University of Colorado、④聴覚障害、⑤株日本コクレア、⑥「人工内耳装用者と難聴児の学習」(共著)、⑦演習などの助手、⑧ギターを弾くこと。クラシック、アコースティック、エレキも始めました。腕前は初心者程度です。パラグライダーとローラーブレードは、これから練習が必要です。

熊野信雄 (くまの のぶお)



①放射線・情報科学科・教授、②1941年、③東京工業大学、④核医学を中心とした放射線画像診断機器のシステム設計、応用技術、⑤㈱東芝医用機器技術研究所、⑥放射線機器学(通商産業研究社)1983、自動制御工学、放射線管理学、医療画像情報概論、他、⑦医用放射線機器工学、⑧4年前に折り畳み形のカヌーを作りし、年3~4回バドリングを楽しんでいます。ホームグレンデは裏磐梯の小野川湖ですが、昨年は琵琶湖まで遠征しました。同好の士を募っています。

橋本正弘 (はしもと まさひろ)



①医療経営管理学科・教授、②1935年、③北海道大学理学部生物学科動物学専攻、④医療機器産業と医業関連サービス業の経営支援、医業経営コンサルタント、⑤東芝メディカル株取締役経営企画部、⑥共著:「医療機器の修理と

保守点検(株CMC)」、「高齢者ケア施設マニュアル(ダイヤモンド社)」、⑦医療機器流通論、⑧学生時代はアイスホッケー、ゴルフは腰痛のため中断状態、読書は阿房列車、時刻表2万キロ等の汽車旅行、外国紀行の類いが1000冊以上、美味と酒の本、E.S.ガードナーの法廷小説等の雑書類が山積。

山崎順子 (やまざき じゅんこ)



①医療福祉学科・講師、②9月27日、③日本社会事業大学大学院、東洋大学大学院社会学研究科在籍、④障害児・者福祉(発達障害児・者の療育を中心に)、⑤日本社会事業大学社会事業研究所、⑥「障害者福祉における入所施設の今日的役割」、1990、「発達障害研究」、「メキシコの自閉症児教育」1991、「国際協力」、⑦ケースワーク論、社会福祉援助技術総論、国際社会福祉論他、⑧推理小説に長年はまっています。

齋藤和雄 (さいとう かずお)



①医学教育センター・教授、IUHWクリニック院長、健康管理センター長、②1929年1月、③慶應義塾大学医学部、④小児科学(感染免疫特に予防接種、未熟児)、⑤国立柏木病院(名譽院長)、柏木県医師会(常任理事)、慶應義塾大学(客員教授)、⑥予防接種の効果と副反応に関する研究、医療従事者の生涯教育と医療施設の有効利用の在り方、多剤投薬のチェックシステムに関する研究、⑦小児科学、⑧庭いじり

柴田知蘿子 (しばた ちかこ)



①語学教育センター・講師、③一橋大学、津田塾大学大学院、④史的音韻論、⑤東京学芸大学、東京造形大学、⑥Stress Distribution:Constraint Hierarchy in the English Language、⑦英語(LL, Integrated English, Reading)、⑧かつては武道・舞踏系でしたが、大田原では新しいことを始めたい。手話を少しだけ。

兵頭明和 (ひょうどう てるかず)



①総合教育センター・教授、②1947年、③東京教育大学(大学院理学研究科応用数理学専攻)、④統計学、⑤厚生省保険局(数理企画官)、⑥Down-crossings and sojourn time of the reflecting barrier stable process、⑦統計学、医療統計学、数学、解析学、⑧なし

種澤一之（かばさわ かずゆき）



①情報教育センター・教授、②1946、
 ③東電大博士課程、④医療情報学、⑤
 順天堂大学、⑥A Sequential Diagnostic
 Model for Medical Questioning、⑦情
 報科学、情報科学演習、情報理論、医
 療情報学概論、医療情報システム論、
 医療情報理論、医療情報理論演習、⑧テニス



雪の為、途中下山しました。詳
 しい内容は部の会報に載せまし
 たが、これから
 の季節は登山と
 ハイキングをや
 るので、興味の
 ある方は、ぜひ入部して下さい。

(放・情3年 坂本裕明)

サークル紹介

◇山岳スキー部冬期活動報告



夏の陽気の今日このごろですが、寒い話を提供します。私達山岳スキー部では、今冬に山スキーとスキーツアーに行きました。11月に富山県の立山に特別隊で登頂しました。既に1mを越える積雪があり、スイスのアルプスを思わせる絶景でした。12月には、山岳連盟に加盟し、2月の白馬スキーツアーは好評を得ました。3月の谷川岳と山岳連盟行事の会津駒ヶ岳は猛吹

◇紫陽花の活動

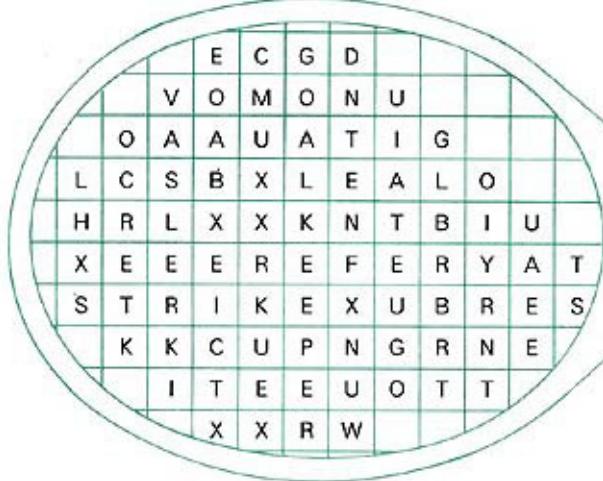
ボランティアサークル“紫陽花”の定期的な活動は、毎週土曜日に精神薄弱者更生施設“太陽の里”に行くことです。そこでは、入居者の方々とスポーツ、カラオケ、散歩の3つのレクリエーションを行っています。スポーツ班は、ソフトボールや剣道などを、試合などもまぜながらやっています。カラオケ班は入居者の方々が選んだ曲と一緒に歌ったりします。散歩班は、施設の周りを、一緒に、おしゃべりしながら歩きます。ボランティアでいくというよりは、遊びに行くような感じで活動しています。（理学2年 岡本和子）

◇大田原市民演武会（少林寺拳法部）

5月11日に県北体育館武道場にて大田原市民演武会が開かれました。我々少林寺拳法部も演武会に参加しました。主に段外中心の演武会で、一般段外の部で放・情3年豊田雅彦、放・情1年山本智久組が最優秀に

I UHWクイズ当選者発表

応募総数31名のうちから正しく20語以上見つけたのが5名でした。厳正な抽選の結果、松崎敦君（福祉）が第1回I UHWクイズの当選者になりました。おめでとう。以下の20語の他に、BYE、CUP、GOAL、OUTも解答として認めました。アルファベット順に並べてなかったのは失格です。次回もがんばってください。



キリストル	
学科	学年
名前	
1 ARROW	11 REFEREE
2 BAT	12 RUGBY
3 COACH	13 RUN
4 DOUBLES	14 SAILING
5 DUGOUT	15 SET
6 GOALKEEPER	16 SKI
7 LOVE	17 STRIKE
8 NET	18 TEAM
9 NOMO	19 TEE
10 PUCK	20 TENT



選ばれました。

地元、大田原市民の人達との交流もあり、演武会二部の講話では大田原の歴史について話を伺うことができました。

今年は少林寺拳法50周年記念国際大会も開催されるので、その選考会に向けて部員一同がんばっています。

(作業3年 竹内利江)

編集後記

2回目の大運動会も無事終了し、2学部7学科の皆さんと一緒に会し、皆さんの若い力と創造力、そして力を合わせることの素晴らしさを感じました。

このような機会を通して、学部、学科をこえて、多くの友人と出会い充実した学生生活が送れることを願っています。運動会に参加した学生の皆さん、会の運営をした学生スタッフの皆さんごくろうさまでした。

(須佐公子)

リレーエッセイ

旬を越える書物を繰り返し読む楽しみ

理学療法学科 谷 浩明

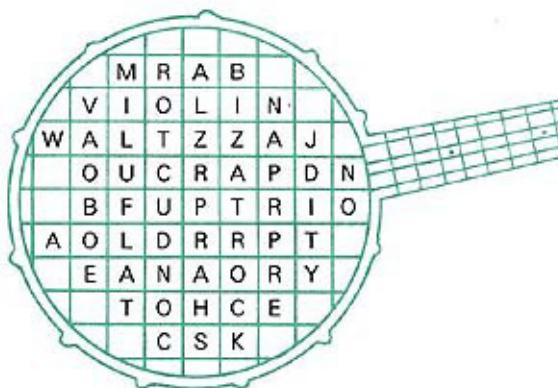
太宰を「はしかのようなもの」と言い切ったのは確かに中島梓だったと思いますが、食だけでなく、書物にも旬があることを述べたものとしては、かなり秀逸な部類に入るのではないでしょうか。殊に「はしか」という表現は絶妙で、今、読めといわれても免疫の出来てしまった身体が拒否するだろう太宰作品の「うじうじ」加減というのは、まさに10代の時期にかかるべき熱病のようなものでしょう。

しかし、お酒の味を知ってその味の変わる食物があるように、経験がその読後感を変える書物といったものもあるのではないかでしょうか。「星の王子さま」という本の最後のページには王子さまのいない砂漠に星がひとつという絵が出てきます。作者サン・テグジュペリはこれを一番美しくて一番悲しい景色と言っていますが、最近読み直しますと、その「悲しさ」が昔のそれとは色合いも濃さも変わっていることに驚きます。氾濫する書物を読み散らかすような読書が教養を高めることにつながると誤解されている昨今、「もう読んでしまった」というだけで物置の段ボール箱にしまったあの本を読み返すのもまた一興かも知れません。

次回執筆者：相野田紀子（言語聴覚障害学科）

I UHWクイズ 一第2弾一 ☆賞品は全国共通遊園地券をペアで☆

英語と音楽大好きなあなたに贈るクイズ。バンジョーの中にある音楽関連語をみつけてください。20語以上。縦横斜め、直線で四方八方に読みとり、アルファベット順に書いてください。但し、1語は2字以上です。応募資格はI UHW学生、1人1枚、〆切は6月25日。正解者多数の場合は抽選、発表次第。解答は事務局窓口外側のメールボックスへ。



キ リ ト ル	キリトル	
	学科	学年
1	11	
2	12	
3	13	
4	14	
5	15	
6	16	
7	17	
8	18	
9	19	
10	20	